まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 666 号
平成 31 年4月号付録

←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

脇山校区ソフトボール大会

「研修生帰国前に地域で思い出を」とのお声かけで、３月２日脇山校区のソフトボール大会が早良高校で行われました。研修生達は日頃鍛えた体力をフルに発揮し試合に臨み、声をかけあいながら和気あいあいと地元脇山の皆さんと楽しく試合をしました。ほとんど経験もない中、何と準優勝してしまい、研修生たちにとって心に残る最後のスポーツ交流会になったことと思います。脇山のみなさん色々とお世話になりました。ありがとうございました。（満川）

試合開始前のあいさつ（於:早良高校）

バッターボックスに立ち、バットを振るインドネシアのシティさん

グリーンウェイブ朝倉水源の森創り

3 月 10 日(日)、第 7 回グリーンウェイブ朝倉水源の森創りが実施されました。当日は植樹活動の予定でしたが、雨のため翌週へ延期。翌週は学生の派遣が困難なことからあまぎ水の文化村で学生環境フォーラムを開催し、約 100 名が参加しました。

これまでのグリーンウェイブ朝倉水源の森実行委員会の活動報告、水資源の観点から森林整備についての市の取り組み、各学校から環境への取り組みや朝倉市の産物を活かした商品開発などの発表が行われました。

また 3 月 17 日(日)は天候にも恵まれ約 50 人が参加し、2 種類の桜の植樹と苗木に肥料を混ぜた土をかぶせる管理作業が行われました。

この活動は 10 ヵ年計画で行われ、今回が 7 回目の実施です。福岡県などからも助成金をいただいています。来年も実施予定ですので、ぜひご参加をお願いします。（安東）

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【3 月の新入会】

小寺　尚美（センター）
伊藤　一義（北九州）
吉田　明子（センター）
高井　弘達（センター）
髙良　泰弘（センター）

【3 月の寄付金】

オイスカチャリティゴルフ実行委員会、㈱ゼンリン
オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟
八江農芸㈱、㈱筑豊製作所、飯倉タクシー㈱
(社福)楽天堂恵風苑、荒木清孝、熊川工業㈱
佐賀県商工会議所連合会、西鉄不動産㈱
正興電機グループ役員従業員一同、㈲ゼナ
三菱重工業㈱、㈱池田冷熱工業、㈲トリニティ
寿防災メンテナンス㈱、(学)明日香学園
㈱エフエム福岡、早良商工会、㈲大地企画
(社福)筑紫野市社会福祉協議会

【3 月の寄付品】

宗像ジュイエ、坂本進、原田明、榮あずさ
早良警察署、中武喜久代、坂田艶子、
御厨孝二、柴戸じゅんこ、ひよどり精肉店、
岩下幸元、鶴田喜代子、上瀧農機商会、
後藤美津代、美奈川理恵、坂本進、樋口惣一郎

4月号の予定

2 日	マレーシア・ペラ州訪問団歓迎式典
3 日	香住ケ丘小留守家庭子ども会つみ木広場
4 日	桜島草刈り
9 日	MUFG 入所式
	センター入所
10 日	対面式
	ルスディ帰国（畜産技能実習生）
13 日	朝倉推進協議会役員会
	トヨタ部品福岡共販社員研修
15 日	青連協常任委員会
16 日	フクネット総会
17 日	全国支部支局会議
	室町ケミカル社員研修(～20 日)
18 日	佐賀県推進協議会幹事会
24 日	西日本支部運営委員会

鬼木大明神　今月の一句

泣くことは恥ずかしいことではないし、
怖がることでもないのだ！
失敗して泣いても、その辛い、嫌な時期をどう乗り越えていくかで、その人の本当の価値がきまるのだ！
辛いことを克服して、より強くなろうと
決意を固めることだ！

夢をもつことだ、本当の自分の夢を
持つことだ！
夢を持つと、苦難を乗り越える力が
湧いてくるものだ！
誰だって自分の失敗に対しては謙虚に
なれるし、それがきっかけで成長できることにつながるものだ！！

寄附をいただきました

東峰村で農機具屋さんを経営している坂本様（オイスカ会員）からの紹介で、三重県松坂市在住の高柳様より、ミャンマーの子ども達のために少しでも協力出来ればという事で募金の寄付を預かりました。
高柳様は、常日頃よりボランティア活動に参加し、北部九州豪雨の被災地支援にも積極的に参加されたそうです。今回お預かりした募金は、11 月に坂本さんがミャンマーを訪問する折に持参し、学校からの要望を確認したうえで活用していただくことになっております。
ありがとうございました。（豊田）

今年度もキレイな桜が咲きました。今年も楽しい花見出来てよかったです。桜が咲いて、２日間ぐらい寒い日々が続いて桜の花が長く咲いています。西日本研修センターで研修をした研修生達が見られないのが残念ですが 2 年目の研修生がラッキーと言ってきれいな桜を見ることができました。桜は短い時間だけ咲くのを知って、写真をたくさん撮りました。撮った写真を自分の家族や友達などに自慢をしました。（リナ）

鳥がさえずる緑の回廊第14回植樹会（北九州市主催）

鳥がさえずる緑の回廊植樹会が北九州市若松区の響灘地区で行われ、国道沿いの歩道にどんぐりの苗5000本を植えました。当日は地元企業、団体をはじめ一般市民を含め1500名の参加があり、オイスカ北九州推進協議会からも会員さんに参加をいただき、皆で植林地に穴を掘り、苗を植え、支柱を立てるなどして、どんぐりの苗を植えました。（満川）

グリーンのブルゾンを着用して植林をしているオイスカ北九州推進協議会の会員のみなさん

ふるさと体験農園

3 月 2 日（土）、研修生の帰国前のバタバタしている時期に、体験農園 2019 年の春夏作の開始式が西日本研修センターホールにて行われました。

今季は前回同様31組のスタートとなり、当日は 15 組ほどの方に参加していただき、場所決めから農園へ移動してのニンジン、ジャガイモの種まき作業を行いました。

昨年は、7 月に集中豪雨と台風に見舞われて、体験農園の圃場が 30 センチほど水に漬かるという被害がありました。

幸いにも野菜の被害は最小限に留まりましたが、今年はどのような天候になるのか、温暖化の影響もあって心配はいつも絶えません。

それでも子どもたちのトウモロコシを美味しそうに食べる笑顔や、元気に畑を走り回る姿を見ると、心配や苦労はどこかへ吹き飛んでしまいます。

今年の野菜は、私たちにどのような実りを与えてくれるのか、子どもたちの笑顔と一緒に楽しみにしたいと思います。（豊田）

トヨタ工場、エコタウンセンター見学

帰国直前の 3 月 1 日、トヨタ工場でプリウスの製造を見学しました。研修生たちはたくさんのロボットをみて、私の国にはロボットが少ないです。と驚いていました。こちらで生産されている車の 8 割は輸出されているそうです。午後には北九州のエコタウンセンターでリサイクルのことや日本の発電について勉強しました。風力発電の見学では風車が大きいので怖がる研修生もいました。リサイクルコーナーではペットボトルをリサイクルすることで、シャツやカバンに変わることを知りゴミの分別の大切さを実感したようです。（園田）

OB 研修生の紹介コーナー ①

皆さん、ただいま！パプアニューギニアから来た OB の Derick Valuka Gare です。

皆さん、ローマ字の名前がわからないと思いますがニックネームはデリックです。2010 年度の西日本研修センター一般コースの農業研修生です。国へ帰ってから 2019 年 3 月初めぐらいまでオイスカラバウル研修センターで畑担当をしました。色々な種類の野菜を植えました。2019 年 3 月 24 日、センターに来所をして、今回は農業指導員のコースで来ています。

以前、日本での研修は 1 年だけ（4 月～3 月）ですので桜を見たことがないです。帰国して、残念な気持ちを持ちました。でも、今回来た時に、桜の時期でキレイな桜を見られました。とても嬉しいです。それだけではなく、先生方や知り合いの方々と会うチャンスが出来て嬉しいです。

これからの新研修生に色々サポートをしますがお互いに一緒に勉強をします。経験をしたことや知っている技術を教えますが私自身も色々学びたいです。その中に、農業の新しい技術や日本文化をもっと知りたい、もちろん日本語を勉強します。この前国へ帰った後、国で日本語を使うチャンスが少ないですので少し忘れてしまいました。

これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

脇山公民館での料理交流会

3 月 13 日、脇山公民館でアテリナと一緒に料理交流会に行ってきました。フィリピンのパンシットとプトプラン（デザート）とインドネシアのバクソの 3 品を作りました。参加者は 13 名でした。みんなと一緒に作りながら、食べながらたくさんを話しました。とても楽しかったです。作り方を教えました。味は参加者のみんながおいしく食べられるように調整しました。私たちの料理はみんなと一緒に美味しく食べたのがとても嬉しいです。今先輩になって、一人でインドネシアの料理交流会で教えるのは初めてですが自分でもよく出来たと思いますので嬉しいです。その時、みんなと一緒にたくさん食べられました。とてもお腹いっぱいです。食べ終わったらパワーポイントで私は国の紹介でアテリナはフィリピンで行っているプロジェクトの話をしました。この日とても勉強になりました。ありがとうございました。4 月 9 日から新しい研修生が来ます。それぞれの国の色々な料理を食べられます。楽しみです。（エル）

東峰村仮設住宅炊き出しボランティアに参加

3 月 18 日（月）、九州電力福岡支店の取り組みとして、2 年前に豪雨被害に見舞われた東峰村において、今もなお仮設住宅で暮らしている方への炊き出しのボランティアに参加してきました。

当日は、フィリピンスタッフのリナさんがフィリピン料理の「アドボ」を、家政研修生のエルさんがインドネシアのスープ「バクソ」を早朝より準備し、昼食に間に合うように東峰村に行きました。

仮設に住んでいる方も、その日はちょうど出かけている人も多く、炊き出しのイベントに参加した方は 10 人程度でしたが、それでも30人分準備して 25 人の方に美味しい料理を食べていただきました。

家政研修生のエルも昼食を取り終えたお母さん達と楽しく話をして、最後には皆さんから「頑張ってね」と声をかけられて嬉しそうでした。

ボランティアに参加したつもりが、逆にお母さん達から元気をいただいた 1 日でした。（豊田）

桜の満開を見た感想

今年、初めて桜を見ました。とてもきれいです。桜が短い時期に咲くと聞きましたが運命に恵まれて、長く咲いている桜を見ました。とてもきれいな花です。私の国ではきれいな花がありますが桜は特別だと思います。3 月帰国をした友達は桜を見るチャンスが無かったです。写真をたくさん撮ってフェイスブックにアップロードして、友達や家族などが見ました。彼らからうらやましい気持ちが出ました。日本に行きたい、桜を見たいと友達が話しました。写真を見るだけできれいな！桜を見るチャンスが少ないですが私はとてもラッキーと思います。4 月 1 日、とてもいい天気でたくさん写真を撮りました。友池お母さんと大坪お母さんと早苗先生とアテリナと一緒に花見をしました。みんなと揃って花見をするのは中々無いと思いますがとても嬉しいです。仲間、研修生達、家族がそばに居ないですがセンターのスタッフが居るから家族が出来たと感じました。私は来年桜を見られませんので今の時期を大切にしています。毎日窓から桜を見ています。非常にきれいな花です。1 年中を見たい花です。（エル）

3 月 5 日～11 日、オイスカ高校、専門学校、天文台訪問、上京

3 月 5 日早朝、センターのスタッフや地元の方々にお別れの涙とともに見送られ、センターを出発。午後には、浜松にあるオイスカ高校・専門学校の学生と交流し校内を見学させていただきました。その後、宿泊のため月光天文台へ。当日は曇り空だったため望遠鏡で星の観測はできませんでしたが、プラネタリウムで満点の星空を見させていただきました。翌日、伊豆にある総裁宅を訪問させていただき、帰国前の研修生に励ましの言葉をかけていただきました。またバスで東京へ向かう途中には研修生たち念願の富士山を見ることができ大喜びでした。午後には首都圏支部と本部のスタッフの方々にアクションプランの発表、懇親会でアクションプランについてアドバイスをいただいている様子でした。

3 月 7 日の午前、和泉学園の交流会で国の紹介をし、子供達からは日本の遊びや踊りなどを紹介してもらいました。午後には東京都議会議員連盟懇親会に参加し、活動報告をしました。3 月 8 日は MUFG コースの修了式があり、シティさんがスピーチ、チャントーさんがアクションプランの発表をしました。2 人とも緊張気味でしたがしっかり話せました。

3 月 9 日は MUFG の社員の方々との料理交流があり、5 カ国の料理を作りました。どれも美味しく出来上がりました。交流会終了後、一足早くパプアの 2 人は帰国のため空港へ。帰国の前日まで研修生たちは本当に帰るんですか？信じられません！と話していましたがようやく研修生達も帰国モードに。9 日の夜から 11 日にかけて全員帰国しました。「1 年間長いようで終わってみるとあっという間でした。」と話す研修生が多いです。苦楽を共にした仲間とのお別れは寂しく、帰りたくない気持ちと帰りたい気持ちが入り混じった様子で「またね！」とお互いに言い合い、みんな新たなスタートに向かって旅立ちました。この 1 年間、農業のことはもちろんですが、日本で経験した全てのことがなんらかの形で役に立つのではないかと思います。1 年間たくさんの支援をしていただき本当にありがとうございました。（園田）

涙いっぱいの別れの日

オイスカ高校の学生達との交流会

都議連の方々と交流の様子

オイスカ専門学校との交流会

月光天文台を見学

和泉小学校の子供達と交流会の様子

MUFG 研修生の修了式

MUFG 方々との料理交流会

成田空港で別れの様子